

平成13年度 独立行政法人土木研究所 業務実績評価

業務実績評価調書

別紙1 業務運営評価

別紙2 個別業務評価

別紙3 総合的な評定

平成 13 年度業務実績評価：独立行政法人土木研究所

業務運営評価

項目	着実な実施状況にある	着実な実施状況にない	着実な実施状況にないと認められる理由	
1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 (1) 組織運営における機動性の向上 再編が容易な研究組織形態の導入				
研究開発の連携・推進体制の整備				
(2) 研究評価体制の構築と研究開発における競争的環境の拡充 研究評価体制の構築				
競争的資金等外部資金の活用の拡充				
(3) 業務全体の効率化 情報化・電子化の推進				
アウトソーシングの推進				
一般管理費の抑制				
(4) 施設、設備の効率的利用				
2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (1) 研究開発の基本的方針 土木技術の高度化及び社会資本の整備・管理に必要となる研究開発の計画的な推進				
社会資本の整備・管理に係る社会的要請の高い課題への早急な対応				
(2) 他の研究機関等との連携等 共同研究の推進				
研究者の受け入れ				
(3) 技術指導及び研究成果の普及 技術の指導				
研究成果の普及 ア) 研究成果の取りまとめ方針及び迅速かつ広範な普及のための体制整備				
イ) 論文発表、メディアでの情報発信等				
ウ) 研究成果の国際的な普及等				
3. その他業務運営に関する重要事項 (1) 施設及び設備に関する計画				
(2) 人事に関する事項				
判断	順調		おおむね順調	要努力

<記入要領> ・ 該当欄に を付す。着実な実施状況にない欄に を付した項目においては、最右欄に理由を記述する。
 <判断要領> ・ 着実な実施状況にある欄のすべての項目について の場合には順調欄に を付し、 の項目数が7割以上の場合にはおおむね順調欄に を付し、 の項目数が7割未満の場合には要努力欄に を付す。
 ・ なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば、下欄に記述する。

【その他のコメント】

- ・ 幅広く意見を聞くため、将来的には土木研究所研究評価委員会の委員として専門分野以外も入れることを検討すること。
- ・ 競争的資金として文部科学省以外から積極的に獲得するよう取り組むこと。
- ・ 重点課題だけでなく、社会的に広く認知される前のシーズの研究にも今後意欲的に取り組んで欲しい。
- ・ 受け入れた研究員について、戻られた後のフォローアップに努めること。
- ・ 土木研究所のレポートを現在、報告、彙報、資料と内容のレベルにより3段階に分類しているが、これについて見直すこと。
- ・ 一般紙や映像メディアなどを活用してもっと積極的にPRすること。
- ・ 評価の方法としては、「着実な実施状況にあると認められる」と「着実な実施状況にあると認められない」だけでなく、中間的な評価を設定するなど見直しして欲しい。

平成 13 年度業務実績評価：独立行政法人土木研究所

個別業務評価

判断の観点	判断
主要業務が目的志向的に企画立案・実施されているかどうかについて、自己評価において十分な説明がなされているか。	<div style="text-align: center;"> 良好 </div> ・ 要努力
国民への説明責任を果たす上で、自己評価結果がわかりやすいものになっているか。	
適切な自己評価体制や実施方法が確立されているか。	

< 記入要領 >

- ・ 上記 から の判断の観点を考慮し、総合的に判断。
- ・ 「法人の行う自己評価が説明責任を果たしているものかどうか」について、特段の問題なしと認められる場合には、判断欄の「良好」に を付し、それ以外の場合には判断欄の「要努力」に を付す。
- ・ 判断欄の「要努力」に を付す場合には、下欄にその理由を記述する。

【要努力と判断した理由】

- ・ なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば下欄に記述する。

【その他のコメント】

個別業務評価のまとめ方について少し分かりづらい点があるので、この点を改善努力すると一層良好である。

平成13年度業務実績評価：独立行政法人土木研究所

総合的な評価

業務運営評価		個別業務評価		総合的な評価
順調	②	良好	①	③
おおむね順調	1			2
要努力	0	要努力	0	1
				0

【自主改善努力について】

・中期目標等に示されている評価指標以外に研究所の取り組みの成果をあらわしやすい指標を自分達の創意工夫で提案し、次の中期計画に盛り組めるようなものをまとめ、それに向けて努力するという事も、自主改善努力として取り組んで欲しい。

・なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば下欄に記述する。

【その他のコメント】

・学位取得のために時間的余裕をつくるなど取りやすい環境を組織的につくって欲しい。